

議会の窓



伊佐市議会だより

令和8年8月 第71号



伊佐市の課題解決へ向けて

目次

- 議案の内容・報告されたもの P 2 ～ P 5
- 請願・意見書・質疑・討論 P 6 ～ P 8
- 委員会報告・議決結果・賛否の分かれたもの P 9 ～ P 10
- 政務活動費実績報告 P 11
- 一般質問・輝く伊佐のひと P 12 ～ P 17
- 特集・9月議会スケジュール・編集後記 P 18 ～ P 20

令和8年

第2回 定例会

6月1日～24日

審議された議案の内容は

議案第33号 専決処分の承認を求めることについて

伊佐市税条例の一部を改正する条例。

専決処分の対象

伊佐市税条例の一部を改正する条例。

議案の概要

地方税法及び地方税法等の一部を改正する法律の一部を改正する法律が令和8年3月31日に公布されたことに伴い、

軽自動車の取得時に課される環境性能割の廃止に係る字句の整理等に関し、所要の改正を行ったもの。

専決処分をした日

令和8年3月31日



議案第34号 専決処分の承認を求めることについて

専決処分の対象

伊佐市国民健康保険税条例の一部を改正する条例。

議案の概要

地方税法施行令及び国有資産等所在市町村交付金法施行令の一部を改正する政令が令和8年3月31日に公布されたことに伴い、基礎課税額に係る課税限度額の引き上げ、減額措置に係る軽減判定所得の基準額の見直し、子ども・子育て支援納付金の創設に係る課税限度額の措置等に関し、

所要の改正を行ったもの。

専決処分をした日

令和8年3月31日

議案第35号 令和8年度伊佐市一般会計補正予算(第1号)

議案の概要

予算額を2488万円増額し、総額を217億9688万円。

主な補正項目・事業内容

●十曾青少年旅行村管理事業

446万円

十曾青少年旅行村の指定管理委託料(令和8年度分)。



十曾青少年旅行村

●菱刈庁舎管理事業

320万円

菱刈庁舎玄関タイル等の修繕経費。



議案第36号 令和8年度
伊佐市介護保険事業
特別会計補正予算(第1号)

■議案の概要

介護報酬の改定に伴うシステム改修に要する経費。

8万8000円

議案第37号 伊佐市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について

■議案の概要

出入国管理及び難民認定法の一部を改正する法律の施行に伴い、多機能端末機による印鑑登録証明書の交付申請の

ために必要な媒体に、特定残留カード及び特定特別永住者証明書を加えることについて
所要の改正を行うもの。

議案第38号～議案第44号
財産の取得について

■議案の概要

取得する財産

新庁舎備品

①机 160台

②椅子

執務室用 435脚

会議室用 514脚

共用スペース用 24脚

③執務室内収納棚 341台

④窓口カウンター 41台

⑤ロッカー等

職員用ロッカー4人用 2台

職員用ロッカー6人用 26台

職員用ロッカー10人用 13台

⑥会議室机等

会議室机 147台

ミーティングスペース家具 5組

キッズスペース家具 1組

応接室家具 2組

⑦議場家具

発言台 2台

議長席用雑壇 1台

議場用机 20台

議場用椅子 38脚

傍聴席用椅子 30脚

契約方法

①～⑦ 指名競争入札による

契約

取得金額

①	141万9千600円
②	387万6千290円
③	348万1千940円
④	140万5千800円
⑤	241万7千910円
⑥	306万7千460円
⑦	373万5千600円

契約の相手方

- ① 文具・事務機の荒武
- ② 株式会社才力モト伊佐営業所
- ③ 文具・事務機の荒武
- ④ 丸三株式会社 伊佐営業所
- ⑤ 合資会社西書店 伊佐出張所
- ⑥ 有限会社山下事務機伊佐支店
- ⑦ 有限会社 松山紙店



⑦



議案第46号 伊佐市消防団員
等公務災害補償条例の一部を
改正する条例の制定について

議案の概要

非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部を改正する政令の施行に伴い、非常勤消防団員等が公務等により死亡した場合における葬祭補償の定額部分を引き上げるもの。

本会議で報告されたもの

0円のうち、8億9988万8000円を令和8年度に繰り越したものの。

報告1号

令和7年度 伊佐市一般会計
予算継続費繰越計算書について

新庁舎建設事業の執行残高

7億1443万4000円を
令和8年度に繰り越したものの。

報告2号

令和7年度 伊佐市一般会計
予算繰越明許費繰越計算書について

新庁舎建設事業ほか20事業
の総額11億2358万5000

報告3号

令和7年度 伊佐市水道事業
会計予算の繰越しについて

水道総合地震対策事業の総額1億3700万円を令和8年度に繰り越したものの。

報告4号

菱刈泉熱開発有限会社の経営
状況について

菱刈泉熱開発有限会社の令和7年度の事業内容を報告。

給湯先は1件の個人給湯停止により13件。給湯量も前年度より毎分160リットル減り、毎分580リットル。

業績 資産の部は、流動資産・預金361万6604円及び売掛金4万2000円の合計365万8604円。

負債及び資本の部は流動負債に未払費用8万円、預り金7万2000円、未払法人税等7万1000円、資本金300万円、剰余金に前期繰越利益57万9176円、当期純利益マイナス14万3572万円の合計365万8604円。

損益計算書 純売上高167

万2800円から売上原価142万886円と販売費及び一般管理費33万782円を差引いたマイナス7万8868円が営業損益。営業損益に営業外収益6296円を加え、法人税及び住民税等7万1000円を引いたマイナス14万3572円が当期利益。



菱刈泉熱開発有限会社

請願の結果

採択

件名	提出者	付託先
請願 1 ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2027年度政府予算に係る意見書採択の請願について	鹿児島県教職員組合 始良伊佐地区支部伊佐地区協議会 議長 戸川 ゆかり	文教厚生委員会

意見書

伊佐市議会から国への意見書を提出を**可決**

意見書 1

【タイトル】**「地方財政の充実・強化に関する意見書」**

【提出先】内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣、国土交通大臣、デジタル大臣、内閣府特命担当大臣、衆参両議院議長

【趣 旨】 地方公共団体には、急激な少子・高齢化にともなう社会保障制度の整備、子育て施策、人口減少下における地域活性化対策はもとより、DXの推進、脱炭素化、物価高騰対策など、極めて多岐にわたる新たな役割が求められています。加えて、多発化する大規模災害への対応も求められる中、地域公共サービスを担う人員は圧倒的に不足しており、職場における疲弊感は日々深刻化しています。政府はこれまで「骨太方針」に基づき、地方の一般財源の前年度水準を確保する姿勢を示してきました。しかし、物価高騰や資材・労務費の上昇による行政コストの増大、さらには慢性的な人員不足を踏まえると今後も引き続き一般財源総額の確保が求められます。このため、2027年度政府予算および地方財政の検討にあたっては、物価高騰や賃金上昇に伴う行政コストの増大を的確に反映し、社会全体で求められている賃上げ基調と相応する人件費の確保をはじめ、一般財源総額のさらなる充実が図られる地方財政を実現するよう求めます。

意見書 2

【タイトル】**「少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書」**

【提出先】内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、衆参両議院議長

【趣 旨】 学校現場では、貧困・いじめ・不登校・教職員の長時間労働や未配置など解決すべき課題が山積しており、子どもたちのゆたかな学びを保障するための教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが困難な状況となっています。ゆたかな学びや学校の働き方改革を実現するためには、教職員定数改善が不可欠です。給特法等改正を受け、義務標準法が改正され、小学校に続き中学校の学級編成標準は2028年度までに35人に引き下げられます。今後は高等学校での早期実施と、きめ細かい教育活動をすすめるために、さらなる学級編成標準の引下げ、少人数学級の実現が必要です。また、学校の働き方改革は教育委員会作成の業務量管理・健康確保措置実施計画によりすすめられますが、「3分類」にかかわらず業務の外部移行・委託を行うための国による自治体への財政措置等が不可欠です。

国会及び政府におかれては、地方教育行政の実情を十分に認識され、地方自治体が計画的に教育行政を進めることができるよう強く要請します。

議案への質疑

6月5日 本会議 5日目

星野 元興 議員

主な質疑

議案第38～44号 財産の取得について

星野

契約方法を指名競争入札とした理由と、入札参加業者数、落札率を示せ。

財政課長

新庁舎・ふれあいセンターで使用する机や椅子などの量産品の什器備品購入であり、市内事業者でも履行可能な内容であることから、地方自治法施行令に基づき指名競争入札を実施した。7者を指名し、1者辞退のため6者が入札に参加。落札率は議案第38号から第43号までが70・00%、議案第44号が69・98%であった。

小田原 宏 議員

主な質疑

議案第45号 十曾青少年旅行村の指定管理者の指定について

小田原

当施設の指定管理者の公募に、伊佐市に本社のある事業者、ゆかりのある事業者はそれぞれ何社か。

副市長

伊佐市公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例に基づき、全部で5事業者からの応募があった。そのうち伊佐市に本社を置く事業者は2社、伊佐市にゆかりのある事業者は2社であった。

小田原

落選した事業者より、今後の対策と反省とするために自社のプレゼン時の点数を教えてほしいとの声がないか。

企画政策課長

ご指摘の点を踏まえ、事業者へどこまで通知するかについては再度検討させていただく。

畑中 香子 議員

主な質疑

議案第33号 専決処分承認を求めることについて

畑中

軽自動車税の環境性能割廃止により本市にとって歳入減となる額は。

税務課長

令和7年度収入額が562万4200円であることから、同額程度の減となる。

畑中

収入減に対する国の補填は。

財政課長

令和8年度においては地方特例交付金で補填されるが、いつまで継続されるのか、安定財源の具体的な内容については国から示されていない。

主な質疑

議案第34号 専決処分の承認を求めることについて

畑中

国保の賦課限度額引き上げによって影響を受ける世帯数は。

税務課長

2世帯である。

畑中

子ども子育て支援金の標準保険料率について、年収400万円40代夫婦、小学生の子ども二人のモデル世帯で保険料値上げの額は。

税務課長

年額1万200円となる。

討論

議案について、反対・賛成の立場で、発言したい議員が自分の意見を述べること

議案第34号 専決処分の承認を求めることについて

反対

畑中 香子 議員

子ども子育て支援金について国民健康保険料に新たに上乗せされる額はモデル世帯で1万2000円。今でも高い保険料がさらに負担増となる。子育ての費用は全体の費用から支出するべきであり、子育てに直接関係のない世帯の保険料に上乗せ徴収するのは間違いである。

議案45号 十曾青少年旅行村
の指定管理者の指定について

反対

小田原 宏 議員

選定の公平性は認める一方、現指定管理者が経験面で有利となり地元事業者が成長・挑戦しにくくなる構造に課題があると考ええる。地域活力の創出と地元事業者育成の観点から、評価結果のフィードバック充実や選定過程の透明化と制度運用の見直しを求め、本議案には反対する。

賛成

緒方 重則 議員

この施設が地域活性化の拠点のひとつであり、その魅力を活かすために民間の活力を導入することは、大いに進めるべきである。今回応募された事業者それぞれの実績・経験値・経営母体の財政状況などあらゆる評価項目において、伊佐市公の施設指定管理者選定審議会の判断及び付託を受けた総務産業委員会の審査結果を尊重すべきとの考えから賛成するものである。

議員定数・報酬の見直しの経緯
や市民意見の反映方法などにつ
いて研修を行いました。
今後の本市での調査・検討に生
かしてまいります。



議員定数・報酬特別委員会研修
令和8年7月21日 枕崎市議会

全国市議会議長会より
感謝状を贈呈されました



福本 千枝子 議員

全国市議会議長会建設運輸委員会委員として尽くされた功績への感謝状

総務産業委員会審査報告



村岡 強志委員長

総務産業委員

今村謙作 奥 浩一
有郷豊喜 星野元興
中村浩久 庵下信一
村岡強志

第45号 十曾青少年
旅行村の指定管理者
の指定について

委員会での採決

「可決すべきもの」

委員 この会社の
経営状況について
は。

企画政策

専門の
資格を持った方に特
別委員として経営状
況を見ていただいて
いる。十曾の指定管
理については黒字で
あるが、他の場所

文教厚生委員会審査報告



畑中 香子委員長

文教厚生委員

緒方重則 武本進一
岩元 努 楠元彩子
福本千枝子 森田幸一
小田原宏 畑中香子

第36号 令和8年度
伊佐市介護保険事業
特別会計補正予算
(第1号)

委員会での採決

「可決すべきもの」

委員 3年ごと
のシステム改修に伴
う国の国庫補助金は
従来から50%か。

長寿介護課

厚生
労働省の通知により
システム改修事業の
国庫補助金は2分の
1と定められている。

請願第3号 ゆたかな
学びの実現・教職員定
数改善をはかるための、
2027年度政府予算
に係る意見書採択の請
願について

委員会での採決

「可決すべきもの」

委員

先生方の
働き方改革で、土曜
授業がなくなったが
時間外在籍等時間の
数値は上がってきた
のか。

学校教育課

一昨
年に比べて昨年度は
時間外在籍等時間が
減ってきており数値
的には改善している。
土曜授業に関しては
全体的にやめたわけ
ではなく学校や地域
の主体性を尊重して
いる。先生方の出て
くる時間は減ってい
る。上限が3回とな
っているためその中
で自由に決められる
ようにしている。

一般会計予算決算委員会審査報告



武本 進一委員長

一般会計予算決算委員

議長を除く全議員
第35号 令和8年度
伊佐市一般会計補正
予算(第1号)

委員会での採決

「可決すべきもの」

委員

企画調整
費344万3000
円は、地域おこし協
力隊の1人の増額分
との事であるが、そ
の内容は。

移住商工観光課

新たに「中心市街地
活性化」に係る人材
を募集し、来年度開
庁する新庁舎やふれ
あいセンターを中心
とした商店街の活性
化を図ることを想定
しての増員である。

委員

修繕料3
20万1000円は
菱刈庁舎正面玄関の
全面改修との事であ
るが、同じタイル張
りにするのか。

地域総務課

現在の
タイル工法ではま
たタイルが浮き出る
可能性があるため、
硬化コンクリート吹
付工法で行う。

委員

農地利用
効率化等支援事業の
補助金の対象者は何
人いるのか。

農政課

地域計画
に位置づけられた担
い手197人が助成
対象者となる。

委員

修繕料31
万2000円の修繕
内容は。

文化スポーツ課

小型船「カタマラン
艇」の船外機の修理
と船底の補修費用。

議決結果一覧表

議案番号	件 名	議決結果
33	専決処分の承認を求めることについて	承認
34	専決処分の承認を求めることについて	承認
35	令和8年度伊佐市一般会計補正予算（第1号）	原案可決
36	令和8年度伊佐市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
37	伊佐市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
38	財産の取得について	原案可決
39	財産の取得について	原案可決
40	財産の取得について	原案可決
41	財産の取得について	原案可決
42	財産の取得について	原案可決
43	財産の取得について	原案可決
44	財産の取得について	原案可決
45	十曾青少年旅行村の指定管理者の指定について	原案可決
46	伊佐市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
請願3	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2027年度政府予算に係る意見書採択の請願について	採択
意見書4	地方財政の充実・強化に関する意見書	原案可決
意見書5	少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書	原案可決

6月議会での議案等17件の中で、賛成と反対に分かれたもの

議 案 議案番号		議 員																○は賛成、 ●は反対
		小田原 宏	有郷 豊喜	楠元 彩子	中村 浩久	奥 浩一	村岡 強志	星野 元興		庵下 信一	武本 進一	岩元 努	今村 謙作	森田 幸一	緒方 重則	畑中 香子	福本千枝子	
34	専決処分の承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	●	※議長の ため賛成・ 反対には 参加しない	
45	十曾青少年旅行村の 指定管理者の指定について	●	○	●	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	●		

令和7年度 政務活動費を報告します

令和7年4月～令和8年3月分

(単位：円)

議員名	項目 交付額	内 訳								支出 合計	返納額
		研修費	調査 研究費	会議費	資料 作成費	資料 購入費	広報費	広聴費	要望・陳情 活動費		
小田原 宏	180,000	157,993			22,007					180,000	0
有郷 豊喜	180,000	41,800			43,536					85,336	94,664
楠元 彩子	180,000	161,100				8,400				169,500	10,500
中村 浩久	180,000	114,102			21,400					135,502	44,498
奥 浩一	180,000	139,782			14,871	16,700				171,353	8,647
村岡 強志	180,000				121,918					121,918	58,082
星野 元興	180,000	102,484	12,500		5,535	39,314	20,167			180,000	0
竹原 研二	180,000									0	180,000
庵下 信一	180,000	67,222	1,650			4,642	105,270			178,784	1,216
武本 進一	180,000	109,022			20,372					129,394	50,606
岩元 努	180,000	109,484	2,750							112,234	67,766
今村 謙作	180,000	41,800			6,651					48,451	131,549
森田 幸一	180,000	114,102	1,210		32,934					148,246	31,754
緒方 重則	180,000	109,022			15,738	8,400				133,160	46,840
畑中 香子	180,000						56,704			56,704	123,296
福本千枝子	180,000				76,263					76,263	103,737
総 計	2,880,000	1,267,913	18,110	0	381,225	77,456	182,141	0	0	1,926,845	

○政務活動費とは

議員の市政に関する調査研究に必要な経費の一部として交付されるものです。

伊佐市では議員一人あたり月額1万5,000円（年額18万円）が交付されています。

地方自治法の規定に基づき制定されている「伊佐市議会政務活動費の交付に関する条例」や規則により、適正に取り扱っています。

○詳細の閲覧は

収支報告書はホームページで公開しています。

領収書等は、議会事務局（大口庁舎3階）で閲覧することができます。

日程調整等ありますので、事前にお問い合わせください。

・閲覧時間：8時30分から17時15分まで

（ただし、土日、祝日及び12月29日から1月3日を除く）





人権施策の充実にむけて伊佐市の取り組みは市長／全庁一丸となって取組んでいく

村岡 強志 議員



問 人権施策の現状や課題、学校教育、相談体制、性的マイノリティへの理解促進、同和問題への対応など市民の人権を尊重し誰もが安心して暮らせるまちをつくるためには個別の施策を一つひとつ充実させることはもちろん、これらを総合的に推進する視点が欠かせない。

人権施策全体を総合的に捉え、今後、市として特に強化すべき重点分野はどこであると考えているか。市民・学校・地域・企業など社会全体で人権尊重の意識を育てるための協働体制を今後どのように構築していくのか。

答 本市では、主要施策として「一人ひとりの人権尊重」を掲げ、あらゆる偏見や差別のない地域社会の実現を目指している。市職員、教職員など行政、教育機関が人権に関する研修を積極的に受け、正しい知識を身につけ、全庁的に人権に関する施策に取り組んでいく必要があると考える。あらゆる差別や偏見のない、一人ひとりの人権が尊重され、誰もが多様な生き方を選択でき、個性や能力を発揮し安心して暮らせる「笑顔あふれ 一人ひとりが幸せを感じるまち」を目指して全庁一丸となって取り組んでいく。



伊佐市の防災対策について

市長／必要な機能は確保できている

楠元 彩子 議員



問 災害に対して想定外にも耐え得る備えをということ、熊本県益城町の取組が報じられていたが、伊佐市ではTKB48（トイレ・キッチン・ベッドを発生48時間以内に整備する取組）など、どのように考えているか。

答 現在の指定避難所には簡易トイレや簡易ベッドを整備しており、キッチンについても学校の家庭科室など既存施設を活用できるため、必要な機能は確保できる。また、避難が長期化する場合は市営住宅、仮設住宅、宿泊事業者、医療機関、福祉施設との災害時支援協定を活用して対応する方針である。

現在の学力状況は

問 AIの急速な発展により社会や教育が大きく変化する中、現在の伊佐市の学力状況はどうなっているか。

答 令和7年度鹿児島学力学習状況調査について小学校5年生は4教科とも県平均を下回ったものの県平均との差は縮小し、中学校1年生は社会、中学校2年生は国語、社会、理科で県平均を上回るなど改善が見られた。全体として県平均との差は着実に縮まり、あと1問正解すれば県平均を超える教科も多く、学力向上への成果が表れ始めている。



問 本市が実施している3歳児健診から就学前までの間に支援の空白期間があるとの指摘もある。



5歳児健診の実施について

市長／支援の構築は出来ている

武本 進一 議員



子どもの成長にじじた切れ目のない支援体制の構築について、市の現状と課題を伺う。

答 保健師が健診で関

わるのは3歳児健診が最後となるが、それ以降も保育園や認定こども園等を通じて支援が必要と思われる子どもの状況は、こども課で随時確認をしている。園などの先生方から見ても必要と考えられる保育や支援を、年3回は療育や保育所等訪問支援園での保育士の加配などの支援について全体で検討する場を設けている。

課題として、保育園や認定こども園が自園でできる支援の充実にきてきている。

問 5歳児健診の導入について検討すべきと考ええるが。

答 発達特性による集団活動に困難さがある場合には、乳幼児健診

のほか発達相談会、医療機関受診による発達相談を案内している。5歳児より前の段階で個々の状態に応じたフォローを行っているので、5歳児健診の実施については現在のところ予定していない。

のりあいタクシー運行見直しを

問 利用者目線に立ち、

帰りの利便性も含めた運用改善を図るべきと考える。今後の方針について見解を伺う。

答 事業者の乗務員が

恒常的に不足する中で、利用者数の増加に対応できるのかというのが大きな課題と考えている。民生委員、タクシ―事業者、バス事業者などで構成される伊佐市地域公共交通活性化協議会において、さまざまな意見を伺いながら十分に検討して、次期計画を作成したい。



図書館の先行活用はできないか

市長／予定通り来年5月とする

星野 元興 議員



問 図書館・会議室・イベントスペースなど、大口ふれあいセンター部分の運用開始時期は、新庁舎と同じ令和9年5月を予定しているのか。

の共有部分でも移転作業があるため、安全面から先行利用は困難である。一方、令和9年4月の落成式後には内覧会を予定しており、詳細は今後調整する。

答 図書館及び貸し館

部分については、運用方法の検討や条例整備を進めており、新庁舎と同じ令和9年5月の開始を予定している。

問 旧施設ではゲーム

禁止や充電禁止などルールが多く、若い世代が利用しづらいとの声があった。新施設では、中高生を含む若い世代が使いやすい環境をどう整えるのか。

答 施設として一定の

秩序維持は必要であるが、従来のルールをそのまま踏襲するのではなく、利用者の声も聞きながら、より良い環境づくりに努める。

問 W i F i や充電環

境など現代的な機能整備、さらに「用事がなくても立ち寄りたくなる公共空間」として育てる考えはあるか。

答 図書館1階学習ス

ペース、2階学習室、3階多目的ホールにW i F i を整備し、机には電源コンセントも設置する。高齢者や若者、市民が自然に集い交流できる場、市内外から人を呼び込める拠点として柔軟に育てていきたい。





大口中央中学校のスクールバス利用範囲の緩和を 教育長／現行の運行規定を守り 運行する。

中村 浩久 議員



問 スクールバスの利用者は旧山野中、大口南中学校区の生徒だけが、路線沿いの資格のない生徒の利用はできないか。

答 スクールバス利用者は学校再編に伴い通学距離が著しく変更になる生徒の通学手段であり、旧大口中学校区の生徒の利用許可は行っていない。

問 中学校のスクールバス利用権限がある中で、大口高校の生徒が利用できた経緯は。

答 大口高校より令和

5年に要望がありスクールバス運行協議会で承認され九州運輸局に旅客の範囲変更願を提出し、生徒の運行を許可いただき、令和7年度より利用となった。

中学校でバスを利用した生徒で停留所から中学校までとなる。

問 将来、中学校の統合や小学校の統合や小学校一貫校のスクールバスは重要と思う。公平に利用できるような体制作りを。

答 学校の統合や小学校一貫など考えていかなければならないが、



スクールバスだけが通学手段ではないと思う。徒歩や自転車も立派な通学手段であるから生徒の考えや希望も踏まえてスクールバスの利用を考えていきたい。

就労支援体制の強化策は

市長／地域連携で支援強化

岩元 努 議員



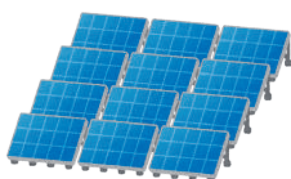
問 特別支援学校開校を見据えた就労支援体制をどう構築するのか。

答 特別支援学校の開校はゴールではなく、卒業後に地域で安心して働き続けられる環境づくりが重要だ。市としても障害者雇用は重要課題と認識しており、県や学校、福祉・労働関係機関と連携しながら支援体制を整えていく。特に伊佐市の基幹産業である農業では、担い手不足が深刻化しており、農福連携による新たな雇用の可能性を期待している。現在も農業分野で障がい者雇用を目指す若手農業者が現れており、学校開校を契機に企業や農業者の機運も高まるものと考えている。今後は企業との意見交換や既存の就労支援体制を充実させながら、障がいのある方が地域で働き続けられる「伊佐モデル」の実現に向けて取り組んでいく。

問 太陽光パネルの大量廃棄に備え、市の管理体制をどう構築するのか。

答 太陽光パネルの大量廃棄は伊佐市だけでなく全国的な課題である。災害時の危険性や廃棄処理の問題を踏まえ、国・県や関係機関と連携しながら対応を進める。処理施設については広域連携も視野に入れ、全国市長会などを通じて国へ制度整備や支援策を要望し、市民の安心・安全につながる管理体制の構築に努めていく。

太陽光パネルの廃棄問題について



風力発電所建設、危険では

市長／業者の意見や準備書・県の見解確認している

畑中 香子 議員



問 風力発電が発する超低周波音が人に与える影響について、新しい知見が発表された。2021年ノーベル生理学・医学賞を受賞し

た博士が「人間の全身にある受容体が超低周波音を感じし、極度の疲労感・頭痛・集中力低下・胸の圧迫感・耳鳴りといった微小循環障害を引き起こす。長期化すれば心血管疾患などにつながる、妊婦、胎児、乳幼児への影響、脳の構造変化や発達障害、受胎能力の低下が最も懸念される」と発表している。また、超低周波音はあらゆる障害物を透過し長距離を伝播する特性があり、タービンから半径10km圏内の生物多様性に甚大な影響があると指摘されている。市長として見解は。

答 民間のニュースやYouTubeでも風力発電の被害というのはほとんど報道もされていない。県が許可し進めていることである。様々な情報を得ながら業者の意見・準備書も確認しており県の見解も確認している中でや

っている。

問 水俣病・薬害なども一部の人が警鐘を鳴らし実際に被害が広がっていたことを国が見過したその間に爆発的に広がり命がたくさん失われた。健康被害や災害が起こってからでは遅い。市民の命と財産に責任を持つべき市長として予防原則に立ち一旦止めるべきでは。

答 影響がゼロということとは世の中には何もない。車を走らせるにも排気ガスは出るがそのことによって健康被害は多少なりともある。電力が遅れなくなったら冷房が効かない、暖房が効かない、それでどうやって命を守るのかということだ。



農業資材と畜産補助事業の対策は

市長／国・県の支援体制を確認し検討する

奥 浩一 議員



援については検討する。

問 畜産農家においては、飼料価格高騰の影響が長期化している。継続的な支援を考えるとはいないか。

答 円安などの国際情勢を含むものであるため、国の支援体制が示された後、速やかに検討する。

問 断熱資材・畜舎の換気施設、ミスト設備などの支援強化を図る考えはないか。

答 専門部会で効果等について設置済み農家等の協力を得ながら検証して進めていく。

問 優良種雌牛保留導入事業は減額予算であるが、算出方法と減額の要因は。子牛市場価格の維持向上、繁殖基盤母牛群の強化、将来の出場頭数確保を目的とした投資型の補助金であるが補助単価は適正であるか、また増額の考えはないのか伺う。

答 牛の繁殖農家数は高齢化等で減少し、飼養頭数もそれに伴い減少。品評会や導入される子牛も減少傾向である。補助事業の利用実績を考慮し予算を計上。薩摩川内市やさつま町と補助額については同じ水準である。関係機関等と連携し、必要な対策を講じていく。



問 栗野インター上り線への伊佐方面案内標識の設置要望、現在の状況は。

答 標準案内標識については国が定めた表示に関する規制等がありハードルが高いが、いわゆる通常の案内標識の支柱などに設置してある案内板（補助板）については、これなら設置は可能であるとの情報を得ており、要望を行ったところである。鹿児島高速道路事務所からは補助版の設置について前向きに検討したいとの話もいただいております、今後も継続して要望活動を行っていく。

問 水俣インター下り線、人吉球磨スマート

高速道路標識設置の進捗状況は

市長／補助案内板の設置は可能との情報を得ている

小田原 宏 議員



インター下り線への案内標識設置要望、現在の状況は。

答 伊佐市に向かう旅行者が安心して利用できる案内標識設置が非常に重要であると考えており、要望活動に取り組んでいるところである。

問 将来的な真幸バイパス完成に伴う、えびのインター下り線への案内標識の設置要望を行う考えはあるか。

答 前向きに取組まなければならぬと考えている。今後のバイパス完成までの進展を踏まえ、適切な時期に提案を行い、実現に向けた取組を進めてまいりたい。



【その他の質問】
・伊佐市の災害対策について

登山道整備、協力体制の構築を

市長／協議する時期に来ている

緒方 重則 議員



びえ」である。市のシンボルであり、地域活性化の一翼を担っていることは紛れもない事実である。登山道の整備維持管理は平出水校区コミュニティが担っているがさまざまな問題に苦慮されている。市として協力できることはないか。

答 登山道の整備は平成27年の覚書を基に現在に至っているが民有地であり市が旗を振って話することはできない。今後お互いに腹を割って話をしたうえでどういう方向で協力していくか考えていく事案だと思つ。発展的に考えれば登山イベントなど知恵を出しながら新しいルールを作つてやっていく時期に来ているのではないかと考える。

「ミ袋の変更について」

問 ナフサの供給不足が国内にさまざまな影響を及ぼしている。ゴ

ミ袋の現在の状況を伺う。

答 価格高騰により他自治体では販売価格の値上げもあるが本市においては今のところ販売価格や仕様の変更は考えていない。

問 市民の負担軽減の観点からゴミ袋を市販の透明・半透明の袋に変更する考えはないか。

答 通常、販売価格はコストと利益で決める。本市はゴミ袋販売金額の何倍もの費用がごみ処理にかかっているが、行政の役割としてコストが幾ら上がることも安心して使つて頂きたいので今の価格を維持しながらやっていく決意である。また、袋に描かれたデザインを提案してくれた人の思いをこれからも大事にしたいので変更する考えはない。

【その他の質問】
・広報誌の月初め発行

問 伊佐市の地域医療体制について、医療機関数と医師数、年齢構



北薩病院に中核病院としての機能の復活を！

市長／県に対する要請活動を強化していく

庵下 信一 議員



成は。

答 医師の高齢化や後継者の確保、人口減少など将来に向けて大きな課題である。医師会や地域の中核的医療機関である県立北薩病院、また水俣市、人吉市の医療機関の利用者もいらつしやることから、両市の中核的医療機関等とも連携を図りながら将来像を検討し、市民の皆さんが安心して必要な医療を受けられるように医療体制の確保及び維持に取り組んでいく。

問 市民の皆さんの願いとして、北薩病院に中核病院としての機能復活への強い思いがある。そのことについて市長はどのように思われるか。

答 今年4月から診療の体制が変わった。午後からの診療や予約なしでも診察が可能になった。また、訪問診療もできるように新病院

長の下で改革が進められている。市民の皆さんの中には、北薩病院はなくなるのではないかとつ意見をよく聞いていたが、手厚い支援をするという風に変わってきた。「県立病院の在り方検討委員会」の答申の状況を見ながら、要請活動を強化していく計画である。安心できる病院体制を目指して、議員の皆さんと一体となって要望活動を続けていきたいと思っている。

【その他の質問】

- ・物価高騰対応重点支援事業の進捗状況について
- ・伊佐市の介護保険制度の認定、保険料について



昭和61年4月、現在地に新築移転した県立北薩病院

輝く伊佐のひと

月に1回、ボランティアごみ拾いをされるみなさん



開。環境政策課の職員はもちろんのこと、市長・副市長も参加をされています。

令和4年からは第一生命保険株式会社のみなさん、令和5年からは林建設株式会社のみなさんと一緒に活動をされています。地域貢献はもちろんのこと

「伊佐市が綺麗になればいいな」との思いが参加のきっかけ」と話されました。

平成22年4月、機構改革により環境対策課から環境政策課へ名称を変更し事務所を菱刈庁舎から現在の衛生センター跡地へ移転したのを機に、地域貢献の一環として事務所周辺のゴミ拾いはじめたそうです。

コロナ禍となり休止をしていた時期もありましたが令和3年に再

ごみを捨てない意識を育てることが環境美化の第一歩。そして自らごみを拾う活動は、まちを大切にすることや地域への愛着を育み、その意識をより確かなものにするとされています。

今日拾った一つのごみが、明日「捨てな

い」という一人の行動につながるかもしれません。その積み重ねが、美しい伊佐を未来へつないでいくことになります。

伊佐市を愛する皆様の活動、思いやりの輪がさらに広がっていくことを願います。





第5回

備蓄品のいま

令和8年熊本地震によりお亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表すとともに、被災されたすべての皆様に心よりお見舞い申し上げます。

今年は鹿児島県北部豪雨災害から20年。いつ発生するか分からない自然災害への大事な備え。伊佐市の備蓄品の状況について取材しました。

伊佐市では大規模災害に備え、食料や飲料水、簡易トイレ、マスク、毛布などの備蓄品を市内の各施設へ分散して保管しています。

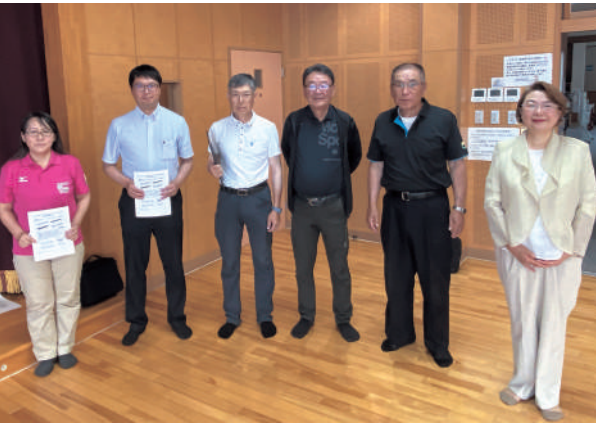
令和7年度に「地域防災緊急整備型交付金」を活用して組み立て式のアウトドア用ベッド、自動膨張式のマットを各255枚、プライバシーテント80台を新たに購入。アウトドア用のベッドは床から身体を離して休めるため、寒さや湿気を防ぎ、感染症対策やプライバシーの確保、避難生活での身体的負担の軽減につながります。配備先は市内の指定避難所や消防団詰所などとなっており、避難所担当職員への取扱い研修も行われた

そうです。

大規模災害では、支援物資が届くまでに時間を要する場合もあるため、各家庭でも最低3日分、できれば1週間分の食料や飲料水、日用品などを日頃から備えておくことが重要になります。

市民一人一人の「自助」と地域で支え合う「共助」、そして行政による「公助」が連携することで災害に強い伊佐市につながっていきます。

「備えあれば憂いなし。転ばぬ先の杖。」先を見据えた小さな備えの積み重ねが、大きな安心を生み、未来を守ります。



備蓄品の主な物

被災を想定し数か所に分けて備蓄しています。なお、食料については500人の3日分です。

(7月1日現在)

大口庁舎	食料	ごはん・パン	3,370	食／個
		ビスケット	1,778	食
		水	547	本
	生活用品	災害用排便処理袋	1,000	回分
		掛・敷布団・タオルケット	40	組
		生理用品類	504	枚
		マスク	12,370	枚
		哺乳瓶	18	個
	その他	ウォータータンク（10L）	229	個
		インバーター発電機	2	台
		投光器	2	台
		カセットガス（発電機用）	48	個
大口元気こころ館	食料	ごはん	1,560	食
		ほほえみミルク	24	本
	生活用品	災害用排便処理袋	1,000	回分
		シーツ・枕	29	個
		生理用品類	412	枚
		哺乳瓶	96	個
	その他	多目的簡易ベッド	13	台
		組立式簡易トイレ	2	基
旧健康センター	衣類	ズボン・下着類	67	着
	生活用品	寝具・タオル	278	枚
菱刈庁舎	その他	災害用敷マット	3	個
		ブルーシート	2	枚
まごし館	その他	災害用排便処理袋	2,000	回分
		多目的簡易ベッド	5	台



令和8年
第3回定例会のお知らせ

○本会議は午前10時開会です。

9月

2日(水)	本会議 招集日
8日(火)	本会議(2日目)一般質問
9日(水)	本会議(3日目)一般質問
10日(木)	本会議(4日目)一般質問
14日(月)	本会議(5日目)総括質疑
15日(火)	文教厚生委員会(9時から) 総務産業委員会(13時30分から)
17日(木)	一般会計予算決算委員会(9時から)
24日(木)	本会議(6日目)
28日(月)	総務産業委員会(決算)(9時から) 文教厚生委員会(決算)(13時30分から)
29日(火)	一般会計予算決算委員会(決算)(9時から)
30日(水)	一般会計予算決算委員会(決算)(9時から)

10月

2日(金)	一般会計予算決算委員会(決算)(9時から)
5日(月)	本会議 最終日

※日程は変更になることがあります。
詳しくは議会事務局(☎23-1335)に
お問い合わせください。

71号の表紙は…

「十曾ダム」です。平成14年から平成16年に大規模改修工事が行われました。

美しい景観とデザインの良さが評価され、周辺は広大な親水公園として親しまれています。

議会をスマートフォン・パソコンでも視聴できます。

(市議会の生中継や録画を映像配信しています)

【伊佐市ホームページ】

↓
【行政・議会】↓
【議会】

【議会インターネット映像中継】

大口庁舎、菱刈庁舎、まごし館では
議会ライブ中継をご覧になれます。「伊佐市議会だより」で、議会のさまざまな
情報をお伝えしています。

編集・発行責任者

議長 福本 千枝子

議会広報等特別委員会

委員長 畑中 香子

副委員長 楠元 彩子

委員 小田原 宏 中村 浩久
有郷 豊喜 奥 浩一

編集後記

小田原 宏

このたびの令和8年熊本地震により、お亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。伊佐市でも震度5弱を観測し、多くの市民の皆様が不安な時間を過ごされたかと思います。改めて、自然災害はいつ発生するか分らず、日頃からの備えの大切さを実感いたしました。

今号では、地震発生前から編集を進めていた「大規模災害に備えるための伊佐市の備蓄品の状況」を特集しております。偶然にも今回の地震と重なる内容となりましたが、この機会にご家庭での備蓄や避難所などについても、ご家族で話し合っていたいただければ幸いです。

市議会といたしましても、市民の皆様が安心して暮らせるまちづくりのため、防災・減災対策の充実に引き続き取り組んでまいります。一日も早い被災地の復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

発行

伊佐市議会 〒895-2511 鹿児島県伊佐市大口里1888番地
編集 議会広報等特別委員会 TEL0995-23-1335 FAX0995-22-4983
HP: https://www.city.isa.kagoshima.jp/politics/gikai/ Mail: gika@city.isa.lg.jp